

総合入院体制加算の施設基準に係る届出書添付書類

| | |
|-------------------------|--|
| 1 標榜し、入院医療を提供している診療科 | 該当するものに○で囲むこと。 1 内科 2 精神科 3 小児科 4 外科 5 整形外科 6 脳神経外科 7 産科又は産婦人科 |
| 2 精神科医師が24時間対応できる体制 | 次のいずれかに○をつけ、医師名等を記入すること。 1 当該保険医療機関の担当精神科医師名： 2 連携保険医療機関の名称及び担当精神科医師名 ・ 名称 ・ 担当精神科医師名 |
| 3 24時間の救急医療体制 | 1 第2次救急医療機関 2 救命救急センター 3 高度救命救急センター 4 総合周産期母子医療センター 5 その他 |
| 4 外来縮小体制 | 1 初診に係る選定療養（実費を徴収していること）の有無 （ 有 無 ） 2 診療情報提供料等を算定する割合 $(②+③) / ① \times 10$ () 割 ① 総退院患者数 () 件 ② 診療情報提供料（I）の注「7」の加算を算定する退院患者数 () 件 ③ 転帰が治癒であり通院の必要のない退院患者数 () 件 |
| 5 病院勤務医の負担軽減及び処遇に対する体制 | 様式13の2に記載すること。 |
| 6 全身麻酔による手術件数 | 件 |
| 7 地域連携室の設置 | (有 無) |
| 8 24時間の画像及び検査体制 | (有 無) |
| 9 薬剤師の当直体制を含めた24時間の調剤体制 | (有 無) |
| 10 その他 | ア 人工心肺を用いた手術 () 件 イ 悪性腫瘍手術 () 件 ウ 腹腔鏡手術 () 件 エ 放射線治療（体外照射法） () 件 オ 化学療法 () 件 カ 分娩 () 件 |

〔記載上の注意〕

- 「2」については、「1」の「2 精神科」に該当しない場合に記載すること。
- 「3」の5を記入した場合には、24時間の救急体制を確保していることを証明する書類を添付すること
- 様式13の2を添付すること。

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に対する体制（新規・4月報告）

1 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする入院料等の届出状況(既に届出を行っているものについてチェックし、届出年月日を記載すること。)

| 項目名 | 届出年月日 | 項目名 | 届出年月日 |
|---|-------|---|-------|
| <input type="checkbox"/> 総合入院体制加算 | 年 月 日 | <input type="checkbox"/> 栄養サポートチーム加算 | 年 月 日 |
| <input type="checkbox"/> 医師事務作業補助体制加算 (対1補助体制加算) | 年 月 日 | <input type="checkbox"/> 呼吸ケアチーム加算 | 年 月 日 |
| <input type="checkbox"/> ハイリスク分娩管理加算 | 年 月 日 | <input type="checkbox"/> 救命救急入院料 注3加算 | 年 月 日 |
| <input type="checkbox"/> 急性期看護補助体制加算 | 年 月 日 | <input type="checkbox"/> 小児入院医療管理料1又は2 (該当する方に○をつけること) | 年 月 日 |

2 新規届出時又は毎年4月の報告時点の状況について記載する事項

平成____年____月____日時点の病院勤務医の負担の軽減に対する体制の状況

(1) 病院勤務医の負担の軽減に資する計画

医師・看護師等の業務分担

医師に対する医療事務作業補助体制

短時間正規雇用の医師の活用

地域の他の医療機関との連携体制

交代勤務制の導入

外来縮小の取組み

ア 初診における選定療養の額 _____円

イ 診療情報提供料等を算定する割合 _____割

その他

(2) 病院勤務医の勤務時間の把握等

勤務時間 (平均週 _____時間(うち、残業 _____時間))

連続当直を行わない勤務シフト(平均月当たり当直回数 _____回)

当直翌日の通常勤務に係る配慮(当直翌日は休日としている 当直翌日の業務内容の配慮を行っている その他(具体的に: _____))

業務の量や内容を把握した上で、特定の個人に業務が集中しないような勤務体系の策定

その他

(3) 職員等に対する周知 (有 _____ 無 _____)

具体的な周知方法(_____)

(4) 役割分担推進のための委員会又は会議

ア 開催頻度 (_____ 回/年)

イ 参加人数 (平均 _____ 人/回) 参加職種(_____)

〔記載上の注意〕

- 1 病院勤務医の負担の軽減に対する体制について、実施しているものにチェックを行い、その具体的な計画についてその写し（様式自由）を添付すること。
- 2 診療情報提供料等を算定する割合とは、① 区分番号「B009」診療情報提供料（I）の「注7」の加算を算定する退院患者及び② 転帰が治癒であり通院の必要のない退院患者の合計を、総退院患者数（ただし、外来化学療法又は外来放射線療法に係る専門外来並びにHIV等に係る専門外来の患者を除く。）で除したものの割合。
- 3 勤務時間及び当直回数の算出に当たっては、常勤の医師及び週24時間以上勤務する非常勤の医師を対象とすること。
- 4 前年度にも届出又は実績の報告を行っている場合には、前年度に提出した当該様式の写しを添付すること。
- 5 急性期看護補助体制加算の届出を行う場合には、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善の計画や評価等が分かる文書を添付すること。